

各 位

2002年11月20日  
株式会社エヌジェーケー

**全く新しいコンセプトの文書検索ツール  
「InfoNature/S (インフォネチャー/サーチ)」を新発売**

～キーワードボタンをクリックするだけで簡単素早く全文検索～

記

株式会社エヌジェーケー（東証第二部 本社：東京都目黒区中目黒4-8-2 代表取締役：谷村直志）は『DataNature』に続く「Nature」シリーズ第2弾として、保有特許BUI（ボタン・ユーザー・インターフェース）を実用化した全く新しいコンセプトに基づく『InfoNature』を開発しました。

今回、『InfoNature』の最初の製品として、文書検索ツール『InfoNature/S (インフォネチャー/サーチ)』を2002年11月27日に新発売します。

従来の文書検索ツールは、文字列や自然文をその都度キーボードから入力して検索を行います。『InfoNature/S』では、既存の基幹システムに存在する“顧客名”、“社員名”、“商品名”といったキーワードや、文書ファイルのプロパティ情報である“日付”や“作成者”といったキーワードを自動的にボタン化し、そのボタンを選択するだけで、目的の文書ファイルの検索が可能です。ファイルの種類、置き場所、分類方法、階層管理を意識する必要もなく、従来の検索システムの数倍から数十倍の効率で文書情報を活用できます。

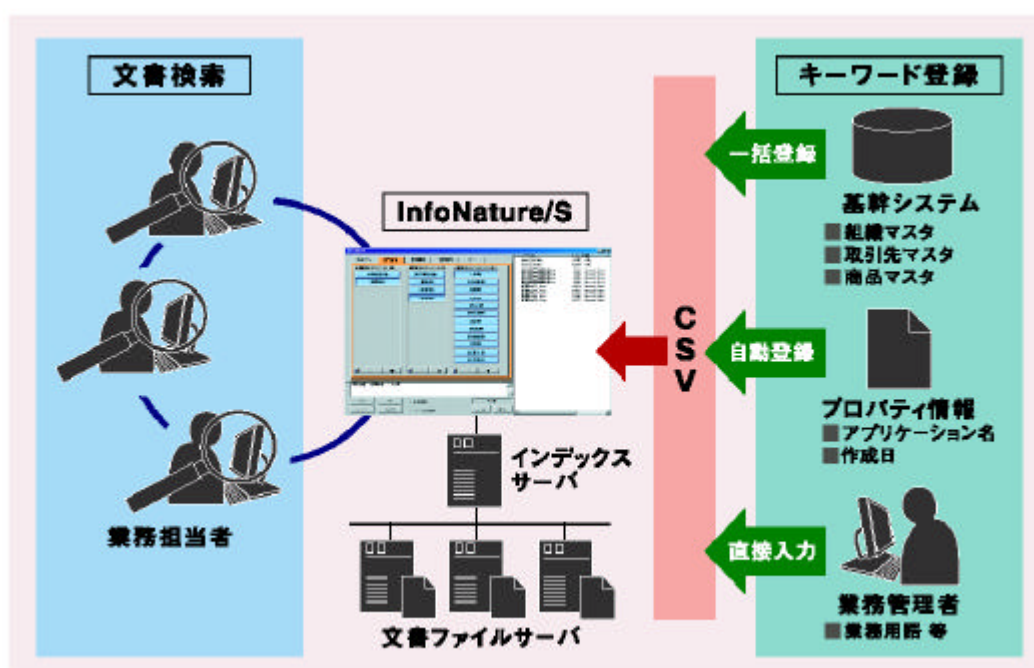
キーワードからボタンを自動生成することによって検索ノウハウを共有化できるので、従来の文書検索方式の、個人により検索結果のバラツキが大きい、文書情報に対する検索ノウハウの蓄積と共有が難しく組織的な相乗効果に至らない、全体の様子や関連の状況がつかめず部分しか見えない、といった問題点を一挙に解決し、業務に精通した人はもちろん、管理者や関連する業務についている人を含めて、情報を必要としている誰もが簡単に目的の文書を取り出せるツールとして、企業の情報活用を強力に推進します。

価格は1システム300万円、販売目標は2004年度末までに約100本を予定しています。

## 商品の特徴

1. キーワードから操作ボタンを自動生成  
検索キーワードから生成されたボタンを押すだけで検索できるため、入力の手間を省くだけでなく、うろ覚えのキーワードもボタンを見ればすぐわかります。また、類義語や省略語を1つのボタンにできるので、同時に検索することもできます。
2. 多次元でボタン検索  
“顧客名”、“社員名”、“商品名”というような複数のカテゴリーの中から任意のキーワードを選択するだけで、目的の文書ファイルを瞬時に絞りこみます。
3. 検索条件を自動生成  
ボタンを選択するだけで、次々と検索条件を自動的に組み立て、瞬時に該当文書を検索して表示します。
4. ボタンの共有とパーソナライズ  
多様なカテゴリーのキーワードを、部門や業務で必要とするユーザー間で共有化できるので、非常に簡単に検索できます。又、個人ユーザー毎に担当業務で利用する固有キーワードを集めた操作ボタンも作れます。
5. 導入したその日から利用可能  
ファイルサーバー上のファイル保管場所の整理や文書ファイルの専用形式への変換が必要なく、現在のファイルをそのまま利用できるため導入が素早く行えます。

## システム構成図



## 動作環境

|          |   |
|----------|---|
| OS       | Windows98,ME,NT4.0,2000,XP                          |
| 必須ソフトウェア | Microsoft インデックスサービス                                |
| 検索対象文書   | MS-Office 文書、PDF、OASYS、一太郎、DocuWorks、HTML、Text ファイル |

以上

[ 本リリースに関するお問合せ先 ]

株式会社エヌジェーケー

経営企画部 : 遊佐 英彦

TEL : 03-5722-5700

FAX : 03-5722-5778

E-Mail : yusa-hd@njc.co.jp

## DataNature (データネチャー) について

データネチャーは、株式会社エヌジェーケーが国内および米国で取得したBUI特許(操作ボタンの生成・検索および表示に関する一連の特許)を全面的に実用化することで、既存のデータから操作ボタンを自動生成し、プログラムを一切必要とせずにOLAP等に代表されるデータ分析の最新機能(スライス&ダイス・ドリルダウン等)をボタン選択だけの簡単な操作で自在に使うことができるようにしたソフトで、エンドユーザーによる本格的なデータ活用を容易にしました。

データネチャーは、1996年5月にバージョン1.0の発売を開始。簡単な操作で多様なデータ活用およびデータ分析を行うことができ、パソコンに熟知していないエンドユーザーでも自動的に生成されたボタンで簡単に操作を行うことができ、分かりやすく使いやすいとして、「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー'96」(財団法人ソフトウェア情報センター)を受賞するなど、各方面から高い評価を得ています。

データネチャーのコアテクノロジーであるBUI(ボタン・ユーザー・インターフェース)は、1994年に日本、米国、英国、ドイツ、フランスに特許を出願しており、すでに日、米で特許を取得済みです。2002年1月にクライアント/サーバ型の『DataNature/E』(データネチャー エンタープライズ)を発売し、また、3月にはDataNature 新バージョン(V4.0)を発売しました。現在約4,000社(ユーザー数は5万人)で使用されています。

## InfoNature (インフォネチャー) について

インフォネチャーは、自社保有する「Nature」シリーズの核となる技術である BUI 特許と新たに追加出願した2つの特許を使用することにより、従来では難しかったファイルの種類、置き場所、分類方法、階層管理を意識する必要なく、“キーワード”、“利用ニーズ”、“情報の流れと状況”のボタンを任意の順番に選択するだけで文書ファイルやメール等業務情報の検索条件を自動生成し、キーボードを基本とした検索システムの数十倍の効率で情報を取り出し、情報の共有と活用を実現するという、新しいコンセプトのソフトウェアです。

インフォネチャーを下記のように3つの機能に分割し、今回は下記の(1)の機能を『InfoNature/S』(インフォネチャー/サーチ)として販売します。

- (1) キーワードをボタン化した文書情報の検索  
既存の基幹システムデータやプロパティ情報をキーワードとしてボタン化し、ボタン操作で検索条件を自動生成し文書検索を行います。
- (2) 利用ニーズをパーソナライズしたボタンに基づくファイル情報の共有と活用  
すべての種類のファイルを情報の利用ニーズという視点で共有し検索を行います。ファイルの置き場所やファイル名を意識せず共有でき、個人毎の利用ニーズ(業務名や利用時期、利用者等)をボタン生成し、ボタン選択でファイル情報を活用できます。
- (3) 情報の流れと状況をボタン化した業務情報の共有  
連絡、報告、稟議等の業務情報と、それらの動きと処理状況をもとに自動的にボタン生成

し、業務名や期限（返答、提出、決裁、有効等）、開封状況、承認の状況、送信者名/会社名/役職等のボタンを選択することで業務情報を検索できます。専用サーバを設置することなく、双方のパソコン内の共有情報をピア・ツー・ピアで検索し、活用できます。

## **BUI(ボタン・ユーザー・インターフェース)特許について**

BUI(ボタン・ユーザー・インターフェース)とは、データや情報活用をボタン選択で実現する新しいコンセプトに基づく技術です。

国内取得特許：

1997年10月 「データから生成するボタン」

特許第2702416号 「コンピュータ処理用操作ボタンの生成方法及びこのボタンの選択状態記憶方法」

1997年10月 「自己増殖するボタン」

特許第2702420号 「コンピュータ処理用操作ボタンの自己増殖方法」

1998年3月 「操作履歴を記憶するボタン」

特許第2760775号 「コンピュータ処理用操作ボタン履歴を記憶し再表示する方法」

1998年7月 「画像や映像を出力するボタン」

特許第2808539号 「コンピュータ処理用操作ボタンのマルチメディア情報による表示方法」

1998年7月 「データ値を診断するボタン」

特許第2808540号 「コンピュータ処理用操作ボタンの自己診断情報表示方法」

1998年10月 「超高速データ識別ボタン」

特許第2837810号 「コンピュータ処理用操作ボタンによるデータ検索方法」

2000年7月 「思考ニーズを支援するボタン」

特許第3091095号 「コンピュータ処理用操作ボタンの自動選出表示方法」

2002年4月 「利用ニーズに適応するボタン」

特許第3320572号 「コンピュータ処理用操作ボタンの最適化表示方法」

米国取得特許：

1998年10月 「上記国内特許をすべて包括」

Patent Number : 5 8 2 1 9 2 6

「 METHOD OF GENERATING AN OPERATING BUTTON FOR

COMPUTER PROCESING,METHOD OF RETRIEVING DATA WITH THE  
OPERATING BUTTON AND METHOD OF DISPLAYING THE OPERATING  
BUTTON」

## **BUI 特許の拡充について**

国内特許出願：

2000年3月 「コンピュータ処理用操作ボタンの生成方法及び該操作ボタンのカスタマイズ  
方法」

特願2000 - 66856

2001年2月 「ピア・ツー・ピアで情報を共有し活用する方法」

特願2001 - 28109

2002年7月 「コンピュータによる多次元データ処理方法」

特願2002 - 216735

---





目的の文書を瞬時に取り出すボタン検索ソリューション。

# InfoNature/S

インフォネーチャー/サーチ

欲しい情報は  
そこにあるのに、  
たどり着けない人がいる。



日本とアメリカでBUI特許取得

※データや情報活用をボタン選択で実現する技術で、日本とアメリカで特許を取得しているネーチャーシリーズのコアテクノロジーです。

 株式会社NJK



# 文書検索が、 ビジネスの動きを止めていませんか。

経営改革の鍵を握る文書管理。業務に関わる全ての人々が、必要な時に必要な文書をタイムリーに入手できれば、複雑な状況も的確に判断できるようになり、企業活動はさらに迅速化するはず。その障害となるのが、従来の文書検索の方法。それは、ビジネスの動きをこんなふうに止めていました。

文書ファイルは仕様もプロパティもさまざま。  
的確な検索キーワードを探すのが難しい。

キーワードを何度打ち込み直しても、  
目的の文書が見つからないことがある。

よく使うキーワードも、検索ごとにいちいち入力。  
業務効率の悪化につながっている。

検索の精度に個人差があり、  
せっかくの情報資産が共有されていない。

一つの検索結果しか見えないので、  
関連する文書情報を効率よく収集できない。

## インフォネーチャー／サーチで、 大量文書を素早くフル活用。

ボタン選択で必要な文書を瞬時にサーチ。検索スキルの個人差も解消し、タイムリーで的確な文書活用環境をお届けします。

### 簡単スピード検索

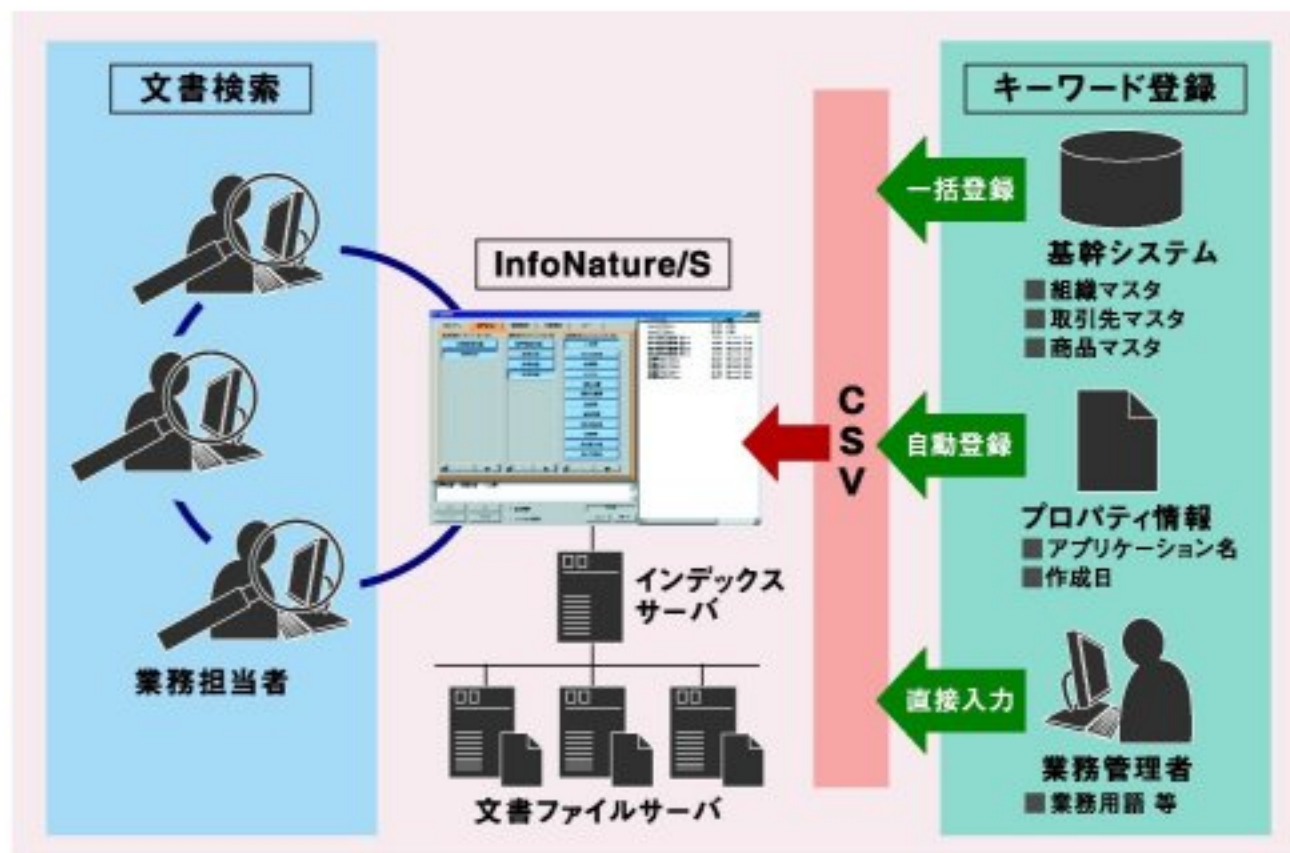
組織や取引先、プロパティ情報といったあらゆる基幹情報を、キーワードとしてわかりやすくボタン化。業務遂行に必須の文書検索を、ボタンによる簡単操作ですばやく行えます。

### 情報共有、活用を促進

必要な時に必要な文書を、誰もが簡単に取りだせる環境を構築。情報資産の全社的な共有と効率的な活用を促進します。

### 生産性向上とコスト削減効果も抜群

1人1日あたり25分とも言われる検索時間を1/5に短縮。業務の無駄を解消し、本業に集中できます。





# STEP 1

## プログラム不要! キーワードからボタンを自動生成

部門名、社員名、取引先名、業務名、書類名等の検索に使用するキーワードを、相互に関連付けてボタンに保存。プログラムや定義を一切使わずに、全文検索用やプロパティ(作成日、アプリケーション名等)検索用のボタンを自動生成します。類語登録も簡単です。

# STEP 2

## 多次元にカテゴライズされた キーワードボタンを瞬時に絞り込み

階層フリーのボタンを選択する都度、関連するボタンだけを瞬時に絞り込み再表示します。キーワードが相互に関連づけられているので、文書の検索が容易に行えます。森を見てから木を検索できるのは、インフォネーチャーだけの機能です。

| ファイル名          | サイズ    | 種類              |
|----------------|--------|-----------------|
| teire02_04.htm | 24,105 | HTML            |
| teire02_10.htm | 30,204 | HTML            |
| 第32期部門事業計画.xls | 14,336 | Microsoft Excel |
| 第33期部門事業計画.xls | 14,848 | Microsoft Excel |
| 第34期部門事業計画.xls | 14,848 | Microsoft Excel |
| 第35期部門事業計画.xls | 14,336 | Microsoft Excel |
| 部課委員会01_04.doc | 26,624 | Microsoft Word  |
| 部課委員会01_10.doc | 36,352 | Microsoft Word  |
| 部課委員会02_04.doc | 28,160 | Microsoft Word  |
| 部課委員会02_10.doc | 28,672 | Microsoft Word  |

# STEP 3

## 絞り込まれたボタンから検索条件を自動生成

類義語を含むキーワードで、検索条件を自動生成し検索します。さらにWord/Excelでは、ファイルを開くと該当ページを直接表示します。

## ボタンの共有、 パーソナライズも思いのまま

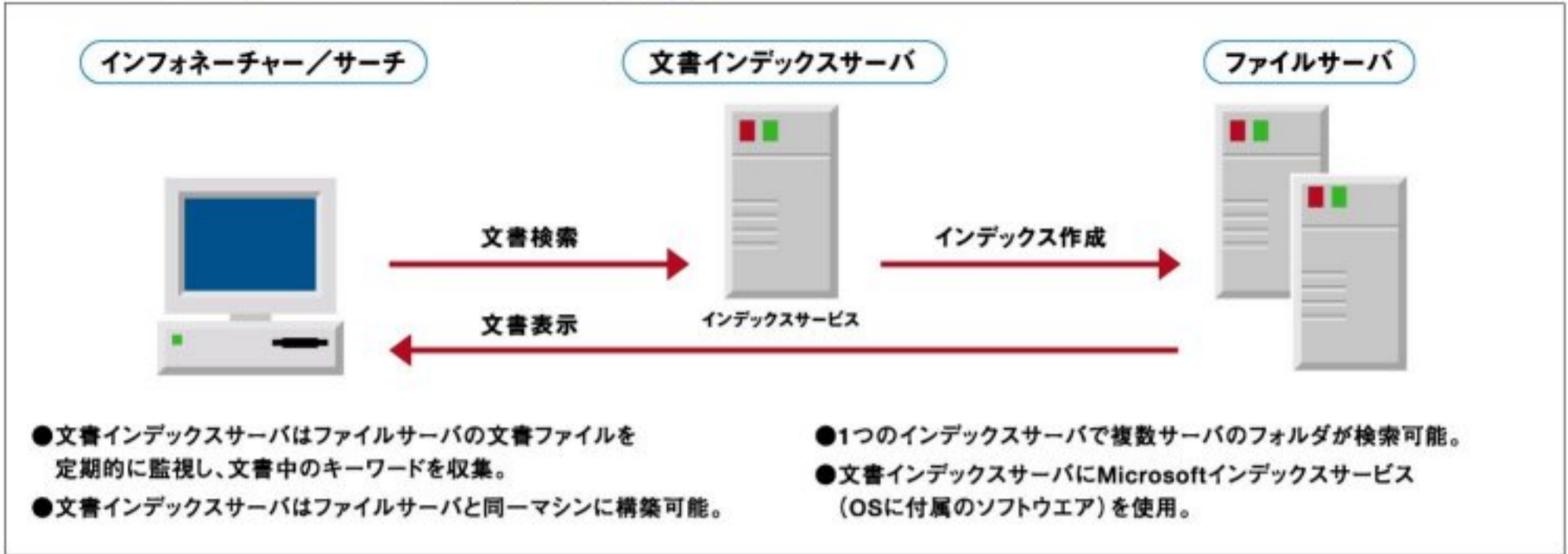
社内や部門内でボタンを共有化することにより、経験豊かなメンバーやスタッフの高度な検索ノウハウを全員で利用できます。自分だけのボタンを作成することも可能です。

## 導入したその日から 利用可能

ファイルサーバの再構成やファイル形式変換の必要はありません。導入したその日からプロパティ検索や全文検索が可能です。



# インフォネーチャー/S



## ■インフォネーチャー/サーチの動作環境

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>マシンスペック</b>  | ・CPU Pentium以上 ・メモリ128MByte以上 ・解像度 1024×768ドット以上、256色以上   |
| <b>対応OS</b>     | ・Windows NT Workstation4.0 ・Windows 2000 Professional ・Windows XP Professional ・Windows Me ・Windows98 |
| <b>その他のソフト</b>  | 検索した文書ファイルを表示するために、それぞれの文書ファイルに対応するアプリケーションが必要です。   |
| <b>検索可能ファイル</b> | ・MS-Office文書 ・PDF ・一太郎 ・DocuWorks ・OASYS ・HTML ・Text  |

## ■文書インデックスサーバ

|                             |  |  |
|-----------------------------|--|--|
| <b>マシンスペック</b>              | ・CPU PentiumIII 800MHZ以上 (1GHz以上推奨) ・メモリ256MByte以上 (512MByte以上推奨)  |  |
| <b>対応OS<sup>※1</sup></b>    | Windows 2000 Server (推奨)   | ・Microsoft Internet Information Service (IIS) 5.0以降<br>・Microsoft indexing service 3.0以降                                       |
|                             | Windows NT Server 4.0  | ・Microsoft Internet Information Server(IIS)4.0以降<br>・Microsoft Index Server2.0以降   |
|                             | Windows 2000 Professional  | ・Microsoft Internet Information Service(IIS)5.0以降<br>・Microsoft indexing service 3.0以降<br>・ユーザー数は10までです。                       |
|                             | Windows XP Professional  | ・Microsoft Internet Information Service(IIS)5.0以降<br>・Microsoft indexing service 5.0以降<br>・ユーザー数は10までです。<br>・PDFファイルの検索はできません。 |
| <b>その他のソフト<sup>※2</sup></b> | 検索対象となる文書形式ごとに、IFilterを導入する必要があります。IFilterとは、文書ファイルを解析し、インデックス(キーワード)を切り分ける準備をするソフトウェア部品です。標準では、MS-Office文書、Text、HTML文書用のIFilterが導入されています。PDF、一太郎、DocuWorks、OASYSの各文書のFilterは、マイクロソフト社のホームページから入手できます。 |  |

※1:最新のバッチをマイクロソフト社から入手し適用してください。 ※2:導入方法については、各マニュアルを参照してください。

販売店名